



ただいまっ！水越、滝尾小5年生が田植え体験（6月14日）

あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21

消防団の定員を390人に ……	5月議会開催 ……	2
1億円のトイレ(大任町)を視察…	委員会報告 ……	6
自治基本条例10月上程を目指す ……		7



消防団員の定数条例を可決

26年5月会議を8日開いた。御船中学校の空調設置工事の契約や消防団員の定数に関する条例、一般会計補正予算などを審議し、採決した。

消防団の定員を390人に

沖 議員 今年度は390人だが、自分の班外の住所の団員は何人か。

松岡課長 町外の住所の方は、町の消防団には入団ができない。町内在住で、他の分団あるいは他の班に加入して消防団活動をする場合、支障はない。結婚したり、転居・転出した場合、団員名簿の変更届がないと居住地確認ができない状況。

清水議員 これで足りると思うか。

松岡課長 消防団の団員数というのは、地域の総合的な防災力。交付税等の算定から割り出したところが299人が標準である。

清水議員 この定数を定めて、それ以上に増えた場合は、増やせない状況になる。

松岡課長 御船町の人口から判断したところの団員数というのが299人。

定数の考え方は、23年度に条例を改正している。消防団の加入促進は随時行っていく。

福永議員 御船町の防災のためには何人ぐらいの消防団員数が適当か。

松岡課長 必要団員数というのは264人を考えている。

福永議員 264人で防災能力が十分だとは考えられない。山都町が740人、甲佐町は504人、益城町は700人。御

船町は十分な防災能力には値しない。もうちょっと必要ではないかと思うが。二百何十人で御船町の防災が十分だという根拠はなにか。

松岡課長 整備指針をもとに積算した。

福永議員 動力ポンプ43台、これは間違いないか。

松岡課長 御船町は9分団31班、31台。自衛消防隊等が5地区で8台。合計39台。

福永議員 整備基準には、可住地面積と出ている。現状にあわせて定数を定めるのか、理解できない。

松岡課長 定数分の各種補償等の負担金が必要となる。よって実団員数に即した定数を定める。

福永議員 今私を含め390人で御船町の消防団員が十分と思っていらっしゃる方はいないと思う。

松岡課長 消防団員の定数に応じた消防団員の公務災害の負担金、退職補償金等の負担金が発生する。それを考慮し定数を実情に即した形で改正をする。

福永議員 お金の問題で条例定数を下げたとも聞こえかねない。

松岡課長 今回改正案として提出している。390人で十分ということは考えていない。地域防災計画の見直しも今行っている消防団との協議も行いながら、今後消防団員の

確保に向けた、適切な目標定数を設定して努力していく。

田端議員 団員の定員は必要数を示すのか実数を示すのか。

松岡課長 自治体におけるさまざまな要因、条件を勘案して定員とする。

実数で判断して、今回改正するもの。

田端議員 実数でいくとなると、毎年改正をしていかなければならない。

反対討論

福永議員 現状の416人も他町村及び関連法令及び基準に比べればはるかに低いもの。条例を上程するというのは、市町村の防災能力を基準として定数に反映させるものと、法令及び基準の中にも記されている。それを実数に合わせて引き下げてしまうことは、この法令上、この定数で御船町は十分防災力が足りるんだということを記してしまうことにほかならない。消防団員の日々の苦勞を考えると、団員を増やして、御船町の将来の防災力に充てていくべき。また、財政の問題もあるが定数を減らすことは、その入り口である交付税の算定根拠も減ってしまう。基本は御船町にはどれだけ防災力が必要かを考える必要がある。

田端議員 執行部、町長、総

務課長から説明があったが、執行部としての考え方がはっきり見えてこない。町長の話ではそれぞれの考え方という点もあった。それも正解だというお話もあるが、これは大事な条例改正の提案なので執行部としてのきちんとした考え方を示すことが大事である。

この消防団員の定数は、現在の条例（416人）でも、実数の390人を包括していることで、何ら問題はない。今、地域防災計画を策定中でもあり、そういった大事な時期をとらえてこの定数問題をどういうふうに町としての考え方を持つのか、定員というのはどういう意味合いがあるのか、きちんと説明ができるという状態を作り上げて議会に提案をすべき。そして御船町の地域防災計画の将来像ということを含めて示していただいたほうが、私は町民にも理解しやすいと思う。

賛成討論

田中議員 消防団員は、我が家の仕事及び自分たちの生活、家庭がありながら、いざ緊急のときには駆けつける使命であることはわかっている。団員数が多ければその範囲も広がる。そこに問題があるのは、消防団員だけに何もかも押しつけて、消防団がやるべきことはもう決まっている。地域は、地域の人たちが守るといふ考え方はどういふことなのかとすると、今現在、御船町には自主防災組織を作り上げようと85囀託区の形が整いつつある。あとは中身を

詰めて、それに対するさまざまな形を作っていくことだ。

団員数が多ければ防災能力が高いというのはわかる。しかし御船町を消防団員だけにお願いではなくて、私たちもしっかり地域のために守ろうじゃないかと。そういう組織の中にくみしながら作り上げていくことが、いざ大きな災害のときには必要である。ですから、消防団員が390人の定員の中でしっかり頑張っている、御船町住民がしっかり消防団をサポートしていく、また消防団員になってくださいとお願いもしていく。そういうやり方なら御船町の防災の能力が高まっていく。

佐藤議員 消防団員は、組織の目的あるいは活動の目的に沿って、十分日頃から努力している。また、日常の訓練、団員の仲間作り等も熱心に取り組んでいる。地域のコミュニケーション力を高めているのも事実。なおかつ、年末から年始は団員確保のために、それぞれの地域で1軒1軒回って団員確保に努めている。4月からは役場の女性消防隊も創設されて、啓発活動等も少しだけ前進している。

しかし、条例の中で、団員

は町内居住者と定めているが、御船町に勤務している者を認めるとか、女性消防団を創設するとかを考えるべき。定員の定義も明確にした中で、この消防団が安心して活動ができる体制づくりが必要。この1年かけてじっくり取り組んで欲しい。

ふれあい広場の工事は

沖 議員 ふれあい広場の南側の工事は何メートルで、どのようにするのか。

上村審議員 里道だが、一部コンクリート舗装が割れている。そこの修理と、国道とふれあい広場中間地点の路面の高さが高いので、梅雨を考えると排水が、ふれあい広場側になり水が流れ込んでくるため、今回里道を横断する側溝にグレーチングを設置、ふれあい広場内の柵で集水する計画。

沖 議員 U字溝を入れて、排水先はどこにするのか。

上村審議員 ふれあい広場側の雨水柵に集水する予定。

井本議員 消防署とふれあい広場の間の里道は、ふれあい広場を建設したときに、中心後退は考えていたのか。

上村審議員 中心後退は、建



ふれあい広場南側里道（工事予定箇所）

築される場合なので今回の対象、道路は二項道路とか建築に伴って後退すべき道路ということではない。

防犯カメラに補助金はないのか

田上議員 ふれあい広場とマルエイ前の防犯カメラの設置工事だが警察等から補助金等はないか。

上村審議員 御船署と確認をとった中では、設置の事業者が町ではなくて、地元の自治会がするのであれば自治会と町、県から補助がある。今回は町で設置をするということ御船署と協議を進めている。

田上議員 ふれあい広場等に自動販売機を設置する場合、防犯カメラの付いたものがある。ぜひ検討をお願いしたい。



防犯カメラの設置を検討している恐竜ロード（マルエイ前）

ふねまる君デビュー

増田議員 総務費の中の広報、ふねまる君による宣伝費が上がっているが、モンゴル展についての計画はあるか。

吉本課長 ふねまるは、3月15日にデビューして予想以上に人気がある。各方面からのいろんな出動要請もある。

今度のモンゴル展に関しては、宣伝隊の人員も12名です（入隊は自由）若い人たちの入隊希望があれば入隊

してもらって、できるだけ無理のない活動をしていきたい。今回の補正の中で、福岡を中心にある程度九州一円を回った。そういった町の恐竜博物館のPRプラスのモンゴル展のPRを、今後6月上旬頃行いたい。

池田議員 GWは職員がボランティアで駐車場整理をしたようだが、今後も連休とか休日等にも職員で計画するのか。

藤井課長 今回は連休にちなみ急々に職員の皆さんに休日振替で応援をお願いした。今後は職員を土日を使うことはできないのでシルバー人材センター、警備会社も含め検討していく。

池田議員 GWの来館者はどれだけだったのか。また、駐車場は足りたのか。

藤井課長 入館者は、4月26日までの総数で、2万7,964人。最大数で5月5日の6,254人。このときに駐車場は足りた。

池田議員 駐車場に関しては、現状で足りる認識でよいか。

藤井課長 入館者数が予測できない部分もあるが、6,200人を収容できたことで大丈夫かなと思う。モンゴル展は委託するので、委託業者で駐車場の整備をしていただく。来館時間は30分、1時間以内で博物館を出ていかれるので、回転は早いと思っている。

山田議員 何回かふれあい広場に行ったが、田上皮膚科前はシンボルロードから車が入れるようになっている。ラン



新マスコットキャラクター ふねまる

ニングコースにも柵がない。子ども連れの保護者にとっては子どもが飛び出し危ない場所である。何か対策を。

恐竜博物館の清掃だが、埃が多い。閉館後だけの掃除ではなく、人が多い時は開館中にも清掃をお願いしたい。

永山議員 東京・大阪の御船会でモンゴル展PR活動のための予算があるが、2人の職員と「ふねまる君」なのか。

吉本課長 普通旅費の2名は職員の2名で、運搬費はふねまる君個体を1.1メートル四方の1.5メートル幅の中に収めてトラック等で運送する経費。

永山議員 ふねまる君はどこに所属か。恐竜博物館のオープンから企画展のPR活動のために、今度九州一円を活動する。梱包せずに車に乗せて一緒に移動すれば集客もできる。このあたりは検討する余地はないか。

吉本課長 九州一円はハイエースに乗せて回っていきたい。東京・大阪は安全面で心配があるので、職員は飛行機、ふねまる君はトラックで輸送を考えている。ふねまる君は、非常勤職員プラスPR大使の辞令を出しているの、企画財政課の所属。

福永議員 ふねまる関係で

70万円ぐらい出ているが、今大変恐竜博物館は人が入っている。今回、人寄せの予算はあるが、どうやって御船町内を回遊させるかの予算が出ていない。

吉本課長 GWには、観光交流推進課でクイズラリーなど仕掛けた。25年度ミフネットのアプリを作成して、パン



ゴールデンウィークでにぎわう吉無田高原（草スキー大会）

フレットも同時にやった。どこで昼食をとってもらうとかの仕掛けは25年度で作ったパンフレットを配布したり、この前の広報でもPRをしている。今後は観光交流推進課を中心に、いろんな仕掛けを考えている。

福永議員 駐車場は30分、1時間、非常に回転がよくて、駐車場的には困らなかったが、町の経済的には、滞在して町内を回遊していただく施策が必要だ。

野口課長 GW期間中は、商工会の皆さんの協力で賑わいを創出してもらった。今後は指摘のとおり来館者をいかに町の中に回遊させるかという企画が必要になってくる。パ

スを使って町中に回遊(体験)をさせるとか、企画を持って町内を回遊させて、行った先々で経済効果を作るとか、今後、進めていきたい。

行政でできる範囲は限りがあるので、町民の皆さん、関係機関に依頼をして進めていきたい。

福永議員 ふねまる君は自由に使って構わないのか。

吉本課長 使用申請をして頂き許可制にしている。使用料は無料。

モンゴル展は

塚本議員 6月

からモンゴル展があるが、委託業者は決まっているのか。

藤井課長 委託業者は、プロポーザルで選考し、KKTに委託する予定。予算は見積もりを取っているところ。

塚本議員 委託となると売上の何%とかの契約はあるのか。

藤井課長 当初予算で出ているが歳入については入館料は御船町。グッズ販売等は委託業者の収入。

落合区の集会所要望は不採用陳情第27号

佐藤委員長 落合地区集会所の整備に対する陳情書について。去る5月1日、委員会を開いた。審陳情第27号は民生文教常任委員会の審査の結

果、不採択すべきものとした。**福永議員** 落合の方々は、あそこを改造してくれというよりも、どこかに何とか集会所を設けたいのが本意。集会所を造ってくれには採択をして、場所に対しては不採択という選択肢はなかったのか。

佐藤委員長 今回の陳情書の中身では、この落合区水道施設を改装して使用させて欲しいとのこと。改装費用等について区では予算化されていないので、再度新たな場所をみつけ陳情を出して頂くことにした。

福永議員 公民館等に対しては、町が半分、自治会が半分。町が全額出すというケースもあったと思うが。

佐藤委員長 地区館、公民館である場合には町で出す。それ以外の地区での集会所等については、建設費用の半額(上限が150万円)となっている。



6月28日から開催されるモンゴル展

議案番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		塚本	山田	増田	福永	田上	永山	藤川	池田	田端	清水	田中	沖	佐藤	吉村	井本
議案第2号	御船町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×

その他、議案等については、全会一致で可決しています。

道の駅を核とする町づくり

民生文教委員会視察研修

民生文教常任委員 田端 幸治 田上 忍



視察研修 福岡県大任町

5月19日福岡県田川郡大任町を視察した。テーマは

- ・道の駅を核とする町づくり
- ・学校給食センター
- ・無料の公的塾「未来塾」

道の駅には1億円のトイレが設置されている。リピーターを増やすにはトイレをきれいにして女性を呼び込む。両脇には物産館、食堂、子ど

も広場、特色のある温泉。駐車場500台、いかに来場者に満足感を与え、経済効果を出すか。お金を生まない施設は作らない。改革には

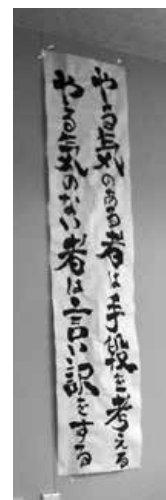
抵抗する人がいる。協力できない人材は不要。失敗したら自らが責任を取ると永原大任町長は話された。

給食センターの隣には納豆工場を作り、空いた時間では納豆を作る。それを町の特産品として全国へ販売。シジミの養殖でシジミの特産化。他の自治体にはない経済効果を実

践中である。

町営住宅建設にも積極的に平屋の二世帯住宅。平屋にすることで地元業者への発注が可能と胸を張られる。どこまでも地元の経済効果を考えられていた。

子どもの教育では、「おおとう未来塾」を町が運営し無料で小学4年生から中学3年生まで188人が塾を利用しており、子どもの学力向上にも力が入っている。



大任町長の言葉

九州一の博物館

～北九州市立いのちのたび博物館～

民生文教常任委員 田端 幸治 田上 忍

5月20日九州最大の北九州市立いのちのたび博物館を視察した。施設の案内のあと運営状況の説明を受けた。

施設は大きさ、内容ともに来場者に満足感を与えるものであった。1時間の案内であったが、時間が足りなかったように思う。平成14年度開館以来、毎年37万人の来館者がある。リニューアル後の25年度は60万人を達成していた。今後も、どうやって来館者を増やすかが課題。毎年4回の特別展を開催し、恐

竜のみにこだわらず人気要素を含んだイベントを企画されている。予算は一回あたり数百万から2千万程度。今回は「まるごと猫展」が開催されており、幼稚園児や猫好きな人にとっては見逃せない特別展である。

御船町においてもモ

ンゴル展が開催される。そこでどう集客しリピーターを増やすかが課題と言える。



施設案内を受ける議員団

自治基本条例 10 月上旬を目指す

5 月 23 日自治基本条例検討委員会との意見交換会を行った。委員長より経過説明があり 10 月上旬を目標に今まで 15 回の委員会を開いた。今後は議会の意見も取り入れたいので一緒に考えて欲しいと要請された。

検討委員会に提出された意見書より一部抜粋

検討委員からの意見

まちづくりの主体は、その地域に暮らす住民。

若い人たちの中には、町に対して、全く興味のない人も多いように思う。

基本条例の策定には、より多くの方の意見を聞くことが大切。そこで、「まちづくりカフェ」などの呼称で、誰でも気軽に参加できるワールドカフェ方式で、楽しく分かりやすく、おしゃべり感覚で楽しみながら、町政に対するアイデアを出すことが望まれる。

町政、議会に、多くの方が興味を持てる条例の策定を期待する。(高橋恵子)

若者が町政に関心・関わりをもてる条例を期待する。(槌田直仁)

住民参加のまちづくりや行政との協働など自分の体験をもとに具体的な考えを盛り込みたい。委員、議員がそれぞれの立場で考えることが条例の根底となるべき。町民の理念がうたわれる自治基本条例である。議員にも議会基本条例の位置づけやイメージをこの機会に一緒に検討していきたい。(柴田恒美)

議員から提出された意見

- 策定の目的をはっきりさせてほしい。若い世代からのアンケートも必要。
- 住民説明を十分にやって欲しい。10 月上旬にこだわらずじっくり検討してほしい。議員との意見交換も必要。
- 議会の問題点を洗い出し改善する上で意義がある。形にとらわれない条例の検討が必要。住民の定義も検討が必要。

町の PR と議会の活動状況を語る

～全国町村議会議長副議長研修会～

御船町議会議長 岩田 重成

5 月 27、28 日第 39 回全国町村議会議長副議長研修会(東京)が開催された。シンポジウムでは、1,600 人を前にして岩田議長がパネリストとして登壇した。恐竜博物館や街なかギャラリー等の町の PR と議会改革の取組を発表した。御船町



住民と歩む地方議会の実情について語るパネリストたち

議会は更なる住民福祉のために議会改革を進めていく。



議会モニター 茂 和代

議会モニターになり、町の行政にも注目しながら、自分出来る範囲で議会を拝聴し、「あおぞら 21」や「まちづくり計画」などを読み、町の将来の事をいろいろ考えさせられている。

町内各戸に配られる、議会の承認を経て作成されている「まちづくり計画書」にじっくり目を通す事は、私たちの税金の使われ方が良く分かる大事なことだが、議員の方に託した要望は果たしてどれだけ反映されたかについても載っている。チェックしてみよう。

今、町は新しい博物館や広場、町なかギャラリー等の施設が目白押しで明るい話題がいっぱいである。

ただ気になるのは、器具や機具のメンテナンスには予算が計上してあったが、しかし、老朽化した備品の予算は私には探せ出せなかった。

例えば、カルチャーセンターのソファは破れを修理してある。椅子については、スポーツセンター 2 階の椅子も含め破れてスポンジが見えている。このような備品は、いくら清潔に掃除されていても避けて座り各地から各分野の人たちがいらっしやる場所だけにすぐ目が行く。

議員の方には、あおぞら会議や議会報告会だけでなく、いろんなどころでの町民の声をくみ上げ一般質問に活用して欲しいと思った。



未来づくり、わくわくして参加

御船町に嫁いで13年、町のことを何も知らないことに気がきました。

御船町のことを知りたいと思いつきながら、あるきっかけで「自治基本条例」の勉強会に参加しました。

町に対しての意見を求められたときに、何も言葉が出てこなく恥ずかしい思いをしたのを覚えています。

こんな私が、今「御船町みんなで作る町の自治基本条例素案検討委員会」で素案作りの検討委員をさせて頂いています。いろいろな先進事例などをと15回にわたり素案の検討作業を続けております。

頭を悩ます事もありますが毎回わくわくして参加しております。



豊秋
江原 史子 さん

す。

回を重ねるごとに、沢山の学びや気付きを得ることができました。

御船町に無償の愛を捧げている素敵な方々との出会いもありました。少しは意見も言えるようになりました。

素案検討委員会ではこれから、住民のみなさんや団体の方々の意見交換が始まります。御船愛をお持ちの方々にお会いでき、学べることを楽しみにしています。

多くの方の意見を反映させ、みんなが誇れるような御船町らしい基本条例の素案を進めていけたらと思います。どうぞご協力お願い致します。

議会の予定 7月

- 3日 宮崎県門川町議会（視察受入）
- 6日 上益城郡消防（操法）大会
- 8日 全員協議会（予定）
- 9～11日 議会広報研修
- 9日 町村議会理事・事務局合同会議
- 11日 上益城郡町議会議長会定例会
- 15日 中央道沿線議会総会・決起大会（高千穂町）
- 16日 議会（予定）
- 17～18日 御船町甲佐町衛生施設組合研修
- 22日 後期高齢者医療広域連合臨時会及び全員協議会
- 23～24日 総務常任委員会視察研修
- 28日 熊本サントリー一会
- 29～30日 議会事務局研修会
- 29～31日 中央道沿線議会提言活動
- 31～8/1日 愛媛県議会議員研修

編集後記

今まで議会の内容は担当となった広報委員が音声聞いて文字起こしをしていました。

26年度からは議会議事録が一週間でデータとして文字起こしされて上がってくる。そのため今までより正確で詳細な内容が記載できるようになった。また議会のホームページもリニューアル中であり、今後は議会の議事録もホームページで閲覧できる。あおぞら21で掲載する内容は議事録の抜粋版である。気に

なつた内容については是非議事録の本文をみて頂きたい。広報では議会であった内容を要約して掲載している。討論は全議員分を掲載している。町民の皆様がワクワクするような内容を今後も掲載していきたい。

議会広報編集常任委員会

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 田上 重成 |
| 副委員長 | 山田 五郎 |
| 委員 | 田上 忍 |
| 委員 | 佐藤 俊明 |
| 委員 | 永田 隆敏 |
| 委員 | 増田 和人 |
| 発行責任者 | 岩田 重成 |